

つとむ通信

2012年 新春号

第9号

発行 自由民主党栃木県第4選挙区支部

〒321-0225 栃木県下都賀郡壬生町本丸2-15-20

TEL0282-83-0001 FAX0282-83-0002

衆議院議院運営委員会筆頭理事就任

2011年9月末で国会対策委員長筆頭代理の任期が満了となり、10月から**衆議院議院運営委員会(=以後、議運)筆頭理事**の役職を頂きました。また**国会対策委員会(=以後、国対)筆頭**の役職は継続することになり、大変過密スケジュールとなっています。

議運の仕事は、本会議の日程・議題・発言者など本会議運営に関する協議を行うことが主な所管事項である為、国対の仕事に近く、国対経験議員が議運のメンバーになる事が通例となっています。私も長く国対を経験しているため、その実績が今回の任命につながったと感じています。私は**国対を10年以上経験して、ようやく国会の仕組みや人脈を形成出来た**と感じています。個人的には若い方々への世代交代は必須だと考えていますが、やはり経験が必要であることも事実であり、**現民主党政権の大半が若手議員で構成されている状況は国会運営・若手育成の観点からみて、あまり正常な状態ではない**と感じています。

議運ではほかにも国立国会図書館や憲政記念館の運営や、細かいところでは、本会議・委員会のテレビ放送、議員に関わる庶務(議員会館・宿舍の部屋割り etc)等も所管しており、仕事は多岐にわたります。**任命されて始めて携わる仕事も多く、国政に出させて頂き15年以上経ちますが、いまだに毎日が勉強の連続**です。現状で満足することなく、応援して下さる支援者の皆様の期待に応えられるよう日々努力して参ります。

政権奪還に向け、勝負の年

2009年衆議院選挙で、こども手当・高速道路無料化・戸別所得補償・高校無償化などのマニフェストを掲げ、民主党が政権交代を果たしました。景気低迷が続く中、自民政権に不満をもつ民衆の総意が反映された結果で、民衆の誰もが新政権に期待していました。

しかし、内閣発足当時は『事業仕分け』等の看板政策で大きな注目を浴びたものの、すぐにメッキははがれました。マニフェストであげた政策はことごとく失敗に終わり、マスコミにはマニフェスト総崩れと取り上げられました。

解散も秒読み段階と思われる中、2011年3月11日に東日本大震災が発生し、解散問題は一時延期となりました。しかし復旧・復興の対応もスピード感はなく、被災者はもとより、国民全体を失望させています。

上記のような様々な失敗を繰り返しているにもかかわらず、今度は**消費税増税に取りかかろう**としています。民主党は**国会提出前の事前協議にのらない野党に責任の所在をおしつける手法を取っていますが**、もう民主党政権には任せておけません。

次期衆院選に向け、私の第4選挙区では**各支部の体制を改め、万全な体制で選挙にのぞめるよう準備を始めています**。次期衆院選ではなんとしても小選挙区にて勝利をおさめ、**政権奪還を果たさなければなりません**。皆様のより一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

第79回 自由民主党大会



1月22日(日)第79回自民党大会が開催されました。全国の県連関係者・支持団体・党員が集まり、『**今年は政権奪還に向けた勝負の年**』である事を強く訴えた大会となりました。

谷垣総裁は挨拶で、今年はアメリカ・ロシア・フランス・中国などでトップ交代が行われる可能性が高く、特に外交に注視しなければいけない年であり、普天間問題などの稚拙な外交を繰り返す民主党政権に任せておくと世界から取り残されてしまう可能性が高い。また2009年衆議院選挙で上げたマニフェストが総崩れとなるばかりか、マニフェストで4年間は増税しないと訴えていた消費税増税にとりかかろうとしている現状は看過できず、解散・総選挙により国民に信を問うべきだと訴えました。

政権奪還までの経過を三段跳び(ホップ・ステップ・ジャンプ)に例え、ホップが2010年参議院選挙での勝利、ステップが2011年の統一地方選挙での勝利で、ジャンプである次期衆議院選挙での政権奪還につなげたいと強い決意を表明しました。

ホームページ更新(ホームページ URL: <http://www.satoben.jp/>)



2011年5月31日に『衆議院議員 さとう勉』オフィシャルホームページを更新しました。過去のつとむ通信を掲載したり、ブログの公開などをしています。是非一度拝見頂ければと思います。

さとう事務所からのご案内

国政報告会(随時)

「さとう勉」が皆様のもとへ出向き、皆様の声を直接伺わせて頂きます。地域単位でも、団体の支部単位でも、趣味の集まりでも結構です。皆様のお声をお聞かせ下さい。

事務所秘書がご相談をさせていただきますが、皆様からもお気軽にお声を掛けて頂ければ幸いです。

国会見学及び東京見学(随時)

歌謡ショーや東京見学と併せて、国会を見学し、佐藤勉と語らいませんか？少人数でも、大人数でも構いませんので、ご興味がございましたらお気軽にお声をお掛け下さい。